



2023年3月1日発行  
 (毎月1日発行)  
 1984年8月15日第3種郵便物認可  
 発行所/(公財)熊本YMCA  
 〒860-8739  
 熊本市中央区段山本町4-1  
 Tel 096-353-6397(代)

# YMCA NEWS

# 3



第1回熊本YMCAタイ・ユースワークキャンプ参加者  
 世界の惣菜バル マルーラキッチン オーナー

松本 宗興 さん

## タイから広がった世界観

### タイを目指したはずがアフリカへ

宣言通り、翌年もワークキャンプに参加。もともと料理が好きだった松本さんは2度のタイ訪問で現地の料理のとりこになりました。本場の味を学ぶにはどうしたらいいかと悩んでいた時に「和食を仕事にしたら、いつかタイに行くチャンスがあるのかも」と考えます。専門学校で和食を学んだ後、ホテルに勤めていた時に目にしたのが青年海外協力隊募集の案内でした。

料理を教える派遣募集があることを知った松本さん。「当時、募集していたのはバリ島の和食専門学校とザンビアの料理学校。『バリ島に行けば東南アジアのタイに近づける』と思って応募しました」。しかし、届いた合格通知に記載されていた派遣先はザンビア。バリ島に行くことしか考えていなかった松本さんはザンビアがどこにあるのかも知りませんでした。「和食が専門なのに海がない国。しかも、ザンビアでは洋食も教えなくてはいけなかった。とても不安でした。でもせっかく合格したのだから行くしかない。そう思えたのはタイでの経験があったから。あんなに嫌がっていたのにタイに行ったら楽しかった。きつと今回も楽しいと思えたんですね」。

### 世界へ目を向ける

日本では「流行っているものを持ちたい」、「いい車に乗ることがカッコいい」と思っていたという松本さん。しかし、ザンビアで暮らすうちに、その気持ちは薄れていきました。「ある日、車で移動していたら、果てしない道のおじさん二人が大きな木の棒を担いで歩いていました。『どこまで行くんだろう』『薪に使うのかな』なんて考えながら眺めていたら、不思議とほのぼのとした気持ちになったんです。ここではお金が無くても皆で楽しく生きている。これまでの自分は何だったんだろうと思いました」。通算10年にわたるアフリカでの生活で価値観が大きく変えられたという松本さん。「これからは日本だけを見て生きていくことは不可能ですね。世界で何が起きているかを知らなくては何も始まらない。ネットでも知識は得られるけれど、若い人たちには実際に海外に行ってその国の匂いを感じ、地肌で感じてほしいと思います」。



在ザンビア日本大使公邸料理人時代の松本さん

マルーラキッチンは、松本さんが積み重ねた経験の集大成。「これまでにいくつもの国を訪れました。何より、アフリカは様々な人種の人がいるから、いろいろな食文化にふれました。自分が出会った美味しいものをこの場所で紹介していきます。同時に僕の海外での経験も発信したい。興味がある人が集まってきてくれたら嬉しいです」。背中を押されて参加したタイ・ユースワークキャンプから約30年。今度は松本さんが誰かの背中を押す番になりそうです。

熊本YMCAでは新型コロナウイルスの影響により延期していましたタイ・ユースワークキャンプの実施を目指しています。興味のある方は右のQRコードよりご登録いただくと、開催決定時にご案内します。



### 「行きたくない」から「来年も行こう」へ

昨年12月に熊本YMCAむさしセンター(合志市幾久富)の道向かいにオープンした「世界の惣菜バル マルーラキッチン」。フレンチ、イタリアンをベースにアフリカ、中東、タイなど、世界各地の味をアレンジした創作料理を提供するのは、オーナーの松本宗興さんです。23歳の時に青年海外協力隊としてアフリカのザンビア共和国へ。現地の若者たちに料理を教え、その後、6年半にわたり在ザンビア日本大使館の公邸料理人を務めた異色の経歴の持ち主です。ケニアの飲食店での勤務経験もあり、アフリカでの生活が長いといいますが、海外での活躍の原点はタイにありました。

1994年、高校1年生だった松本さんは、当時YMCAでボランティアをしていた父親からこういわれます。「夏休みにYMCAのタイ・ユースワークキャンプに参加しなさい」。このキャンプは、中高生を中心とするユースにアジアの農村の現状を知ってもらうことを目的に同年にスタートしました。「僕は海外なんて行きたくなかった。でも父は『もう申し込んだから』というんです。ケンカになりました」。仕方なく参加したという松本さんですが「帰国する時には、『来年も来よう』と決めていました」といいます。「当時はバンコクの中心部にもスラムがあり、少数山岳民族の人たちへの差別もひどかった。それまで何も知らなかったタイの現実を見て衝撃を受けました。一緒に参加した仲間との出会いも大きかった。とても楽しかったですね」。

## Pickup

### ピンクシャツデー特集

(6面に関連記事)



ぶどうの木幼稚園



放課後等デイサービス



みなみセンターサザンスクール

# Information 行こう 見よう 深めよう

## 春からはじめるYMCA こどもプログラム体験受付中

☎詳細・申込みはWebで  
☎Tel 096-353-6391



新年度  
×  
挑戦

### スポーツスクール 特別無料体験会

YMCAのスポーツスクールは各種目の基礎から段階に応じて丁寧に学ぶことができます。グループ活動を通して集団生活への適応力を身につけ、自信とやる気を育てます。

☎3月26日(日)

☎水泳、体操  
☎みなみセンター、  
ながみねファミリー  
センター、むさしセン  
ター



### こどもえいごスクール 無料体験レッスン

YMCAの英語教育は、実用的な英語力、多様性を受け入れるやさしさ、世界の人々と共生できる広いこころを持つ地球市民の育成を目指しています。

☎熊本YMCA本館、  
みなみセンター、な  
がみねファミリーセ  
ンター、むさしセン  
ター ☎新年少児〜  
小学4年生



4月4日 Tuesday

## 第28回 新入社員 ボランティア入門講座



体験  
×  
ボランティア

高齢者疑似体験や車いす乗車体験を軸に、社会人として必要な、自分とは違う立場での見方や考え方を学ぶ企業合同の研修プログラムです。

☎4月4日(火) 13:30~16:00 ☎YMCA本館(熊本市中央区段山本町)

☎今春入社の新社会人、入社2・3年目の社会人 ☎20名 ☎YMCAフィランソロピー協会会員企業1人 2,000円 非会員企業1人 2,500円

☎YMCAフィランソロピー協会 ☎協会事務局 熊本YMCA Tel 096-353-6397

E-mail ymca.philanthropy@gmail.com



## 熊本県SDGs登録制度の事業者認定



熊本県は、SDGsに積極的に取り組む企業や団体等を後押しし、熊本県内における取り組みの裾野を広げることを目的に「熊本県SDGs登録制度」を創設。これまで、第1期から第4期にかけて登録事業者を認定しています。

公益財団法人 熊本YMCAは第2期に登録されており、この度、学校法人熊本YMCA学園と社会福祉法人熊本YMCA福祉会が第4期の登録事業者となりました。



## YMCA阿蘇キャンプ70周年記念式典

YMCA阿蘇キャンプ開設70周年を記念して下記のとおり記念式典を举行します。

☎3月21日(火・祝日) 10:30~14:00 ☎YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰358) ☎YMCA本館とむさしセンターより送迎バスを運行します。参加希望の方はお問い合わせください。 ☎Tel 096-353-6397

☎日時 ☎会場 ☎内容 ☎参加費 ☎定員 ☎参加条件 ☎持ち物 ☎対象 ☎主催 ☎締切 ☎申込 ☎問合せ ☎その他

## COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.15  
総主事 光永 尚生



### 哲学という切り口から、 未来のあるべき姿を考える試み

PHP新書の、「世界の知性シリーズ」の中にあるドイツのボン大学で史上最年少29歳の教授に就任したマルクス・ガブリエルの著書から、2023年以降を考えてみました。現代社会には、「わかりあえない他者と生きる」、「つながり過ぎた世界の先に」などの課題があるようです。前者では、人間関係の束縛から自由になる。対

話できない相手と話し合う方法。私にとって「他者」とは何か。我々はいかに「他者」とわかりあうべきか。家族とは何か。愛とは何か。自己の感情とどう向き合うか。宗教や倫理と他者の関係などにふれています。また、後者では、コロナ後、資本主義はどうかかわるのか。世界で最も注目される哲学者が示すビジョンとしての輝きを放った意見のように見えます。

私たちの熊本YMCAは、地域の皆さんと共に、熊本地震を経験し、豪雨災害に見舞われた地域に寄り添い、共にパンデミックを乗り越えようとしてきました。そして、今まさに「わかりあえない他者と生きる」また「つながり過ぎた世界の先に何が待っているのか」を考える必要があります。一方で行動につなげることの困難さにも直面している現実があります。そのために

もピンクシャツデーなどの取り組みへのチャレンジは続けてまいります。YMCAは、地域社会と共に歩み、共に生きる試み、つながりすぎた世界の中でよりよい生き方、豊かな生き方を模索する試みを続けてまいります。私たちは、ポジティブネットのある豊かな社会づくりへのアプローチとして、これからもあるべき姿を何かを考え、見極められる「地域の中にある知性」としての働きを進めていきます。そのためにも、熊本YMCAの使命にある6つの働きを具体化し、SDGsの推進にも寄与できる働きがより一層求められます。平和を創り出す働きにつながっていくことを信じて、新しい年度への第一歩を力強く歩みたいものです。トルコ・シリアの被災された皆さんを覚えつつ、共に祈りつつ新たな一歩をお願いします。

## R | E | P | O | R | T

[ 1月11日⇒1月30日 ]

ふれあい

## 留学生たちと交流 子育て広場わいわい

親子のふれあいと、YMCAならではの出会いの場として1月11日(水)と1月25日(水)に熊本YMCA本館で「子育て広場わいわい」を開催しました。熊本市子どもの未来応援基金の助成によるもので、11日は1カ月健診終了後～1歳半の子どもと保護者を対象にベビーマッサージ体験を、25日は「小さな国際交流」として、0歳～3歳の未就園児を対象に、熊本YMCA学院で日本語を学ぶ留学生との交流会を行いました。

小さな国際交流では、留学生と子どもたちが様々な国の言葉で挨拶をし、日本や各国の歌遊びなどを

楽しみました。留学生が絵本をいろいろな言語で読み聞かせると子どもたちは興味津々の様子でした。

留学生からは「大人同士ではなく、先生や親と小さな子どもとの日本語でのやりとりを見ることができたのが新鮮だった」「初めは緊張していた子どもたちが絵本を読んだり、お手玉で遊んだりしているうちにだんだん自分から遊びたがるようになってきて嬉しかった」、参加した保護者からは「様々な言語のシャワーを浴びることができて、子どもにとって良い刺激になったようだった」などの感想が聞かれました。

職員 西本愛



キリスト教

## 熊本バンド147周年記念 早天祈祷会を開催

明治時代にキリスト教の教えを全国に広めようと誓い、後に「熊本バンド」と呼ばれた有志たちの結盟147周年を記念し、1月30日(月)に花岡山山頂で早天祈祷会を開催しました。

九州学院院長の小副川幸孝さんより、「キリストの弟子」と題し奨励が行われ、「熊本洋学校の生徒たちがアメリカ人の教師ジェーンズから学ぶにつれ、キリスト教を自身の柱とすることを決意し、これを広く世に伝えるために奉教趣意書を記したのではないか」「ルカによる福音書5章に、様々な困難にあおうと、繰り返し神の真実に立ち返っていくこと

ができる人を『キリストの弟子』と記されている。熊本バンドを結盟した35名の青年たちも立ち返っていく人生を歩んで『キリストの弟子』としての人生を送ったのではないかと熊本バンドの青年たちについて思いが語られました。

今年度も新型コロナウイルスの影響により現地参加は関係者のみとなりましたが、ライブ配信を行い、多くの人に「熊本バンド」の存在を伝えることができました。150周年へ向けた準備も始まります。

職員 松尾隆寛



専門学校

## 学びの成果を披露 熊本YMCA学院卒業発表



## ホテル観光科 模擬挙式・披露宴

1月18日(水)、熊本YMCA学院のホテル観光科がANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイで模擬挙式・披露宴を実施。ホテル業界の専門スキルや観光ビジネスを学ぶ学生が企画、運営を担いました。新郎役がフランス出身の学生であるため、自治体の首長が祭司を担うフランスで行われる挙式の慣例に挑戦。熊本市長の大西一史さんが祭司役を務めました。また、黄色とブルーの花々を使ったフラワーシャワーを行って、ウクライナの平和を祈りました。SDGsの観点から花びらは規格外の生花を使用。リボンワズンの握り手は木の枝を再利用しました。披露宴では、学生が配膳や飲み物のサービス、音響や照明、司会を担当。ホテルマンのサービスを実践する機会となりました。

プロデューサー役を務めた河野祐佳さんは「今、私たちに何ができるのかを考え、ウクライナへの支援とSDGsの取組みを考えたい式にしました。素晴らしい思い出ができました」と感想を述べました。

職員 藤井千秋

## 児童福祉教育科 卒業発表会

熊本YMCA学院の児童福祉教育科の3年生が1月22日(日)、授業を担当する講師や家族、卒業生らが見守る中、熊本市植木文化ホールで卒業発表会を開催しました。企画立案から演出、上演まですべてを学生が主体となって創りあげました。コロナ禍により、在学中ほとんどの期間を新しい様式で学ばざるをえなかった学生たち。今回は「結」をテーマに、劇やダンス、合唱で「繋がっていくことの大切さ」を表現しました。

副総監督の山口愛生さんからは「卒業制作に取り組む中で改めて『仲間の大切さ』を感じました。楽しいことばかりだけではなく、苦しかったこと、悔しかったこともたくさん経験しましたが、仲間や周りの支えが困難を乗り越えられる強さを教えてくれました。自分自身も誰かを支えられるように社会人として頑張っていきたいと思います」と感想が語られました。

職員 加藤泰文



この他、建築科では、製作、製図、パースやCADを使用した卒業発表会を開催し、未来の建築家たちが学びの成果を披露しました。

# YMCA年末募金 こども・若者・国際協力

## Voice1 これからも学びつづきたい



ECGL2022 (English Camp for Global Leadership)参加者  
むさしセンター英会話在籍生  
高校3年生  
川津 秋季穂さん

全国の中高校生が英語だけで3日間を過ごすプログラム「ECGL」に参加しました。SDGsを中心にテーマを掲げてプレゼンテーションやスピーチを作りました。思っていた以上に大変でしたが講師や大学生のリーダーたちが助けてくださり、発表することができました。たくさんの人と英語でコミュニケーションがとれて楽しかったです。将来の夢に向けて、これからも英語の勉強を頑張っていきます。

※ECGL (English Camp for Global Leadership) / グローバルな課題に目を向け、自ら考え行動できる地球市民の育成をめざすプログラム。今年度は12月に静岡県のYMCA東山荘で開催された。年末募金から参加費を補助している。

## Voice2 入国後にうけた心強い支援



熊本YMCA学院日本語科留学生  
ROSALES MARY  
GRACE SACAYさん

私は2022年3月に留学生としてフィリピンから日本へ来ました。当時は、コロナによる入国制限が緩和されたばかりで、飛行機の運賃も通常の約2倍かかりましたし、PCR検査を受けるのにもお金がかかりました。入学後すぐにアルバイトは見つかりましたが、生活は苦しかったです。

そんな時、留学生のために「生活支援金」をいただいたので、とても助かりましたし、嬉しかったです。募金して下さった皆様に心より感謝しています。

※2021年度募金の一部はYMCA学院日本語科入学のために来日した留学生たちの支援のために用いた。2022年度も引き続き、募金を通して留学生の進学支援等を行っていく。

## 2022年度募金活動

楽しみながらチャリティ  
YMCA祭



11カ所で行った  
街頭募金活動

クリスマス祝会も  
チャリティ



- 古江さくら 古木秀明 古澤光矢 古島博幸  
Brent Moseley 外城律子 外村恵子 外村剛 堀川和幸 堀畑真子 堀原園江 堀部真紀 本田磨 本田節子 本田隆 本田テツ子 本田奈緒子 本田華那 本田眺梨 本田瞳 本田麻依子 本田雄二 本田諒 本坊浩子 本堀秀一 前川歩美 前川幸菜 前田香代子 前田慶子 前田なおみ 前田夕紀 正清祥人 正清彰賢 真島叶多 増田明子 益田紗那 増田弘子 益田昌弘 増田美由紀 増永高治 増永ゆめ 増見隼 増見富代 松井宏樹 松岡郁恵 松岡郁子 松尾和子 松岡正勝 松尾隆寛 松尾康代 松瀬慎治 松永拓真 松永澄弥 松永夏紀 松永英和 松永帆空 松永梨夢 松野利美 松藤直美 松村心晴 松本和美 松本恵子 松本煌大 松本春音 松本遥志 松本光広 松本美幸 松本悠聖 松本勇人 松本優芽 松本蓮生 丸内陽子 丸住渉真 丸目瑛介 丸目陽子 丸山知子 丸山ひかり 三上充 三島煌生 水島陸人 水元裕二 光永京子 光永尚生 皆見治男 南ゆり 宮崎朝陽 宮崎香海 宮崎貴之 宮崎陽菜乃 宮崎靖大 宮崎義孝 宮之脇壮真 宮本篤志 宮本梢 宮本信治 宮本慎哉 宮本園南雄 宮本昌宣 宮本真実 宮本素子 武藤興紀 村上愛 村上穂華 村上凛華 村嶋薫 村嶋邦彦 村田紀美子 村田誠子 村田みどり 村山歩希 米ヶ田穂 元田留美 百田笑菜 森川禎子 森崎蒼 森下唯 森住由鈴 森高チズ子 守田富男 森田裕子 森田薫 森田義範 森田義幸 森博之 森美羽 森律子 森遠太郎 両角知見 安田百合絵 安永葵子 安永尚子 安永珠子 矢野めぐみ 山内唯愛 山内みどり 山内悠申 山口華凛 山口大翔 山口富士子 山崎煌雅 山崎恒雄 山崎洋一 山崎蘭 山下桜史朗 山下蒼空 山下久子 山田忠昭 山田照子 山田典子 山田英紀 山田芳之 大和宗一郎 大和雄翔 山中結月 山根誠之 山本晃平 山本心温 山本咲希 山本貴大 山本芽生 山本里帆 山本了 湯治碧生 湯田ころろ 横田真佐子 横田美帆 吉岡久美 吉岡光憲 吉川愛梨 吉川綾音 吉田しのぶ 吉田純子 吉田ハル紀 吉田陽真 吉田ひかり 吉田美華 由富章子 吉松裕藏 吉村かえで 吉村知子 吉村直徒 吉村萌生 吉村萌 吉本寛治 吉本湊太 吉本貞一郎 吉本典子 吉本莉子 吉安真理 吉山典秀 依田智義 米倉谷子 米村葵 米村薫 米村留美子 米本和志 米本玲衣 李英 若松明美 鷲崎侑斗 和田修一 渡辺和子 渡邊希子 渡辺恵子 渡邊琴美 渡辺紗幸 渡邊秀俊 渡邊美香 渡邊仁子 渡邊侑花 渡邊理香

### 企業・団体

- ART女性クリニック (医) 愛育会 福田病院 (有) 青木葬儀社 (株) 赤星建築都市設計研究所 赤水郵便局 アサヒプロダクト (株) (株) アシスト・コミュニケーション (有) 阿蘇管理センター 荒木公認会計士事務所 (株) アルカグランモッコ事業部 (株) 岩永組 (有) 梅井工務店 エニタイムフィットネス長嶺南 エムテック (株) エムロード (有) 大谷書店 (株) 大橋時計店 (株) 緒方建設 (医) 魁正会 服部胃腸科 (医) 回生会 リハビリテーションセンター 熊本回生会病院 (株) カリーノファシリティーズ 関東学院大学 燦葉会熊本県支部 (株) がんぱりっ子 (有) ギフト百貨大黒屋 九州電力 (株) 熊本支店 九州ビルサービス (株) 熊本支社 (学) 九州ルーテル学院 熊本ケービー食品 (株) 熊本水前寺ワイズメンズクラブ 熊本聖書教会 (株) 熊本製綿所 熊本ナザレン教会 (公社) 熊本法人会 熊本みなみワイズメンズクラブ 熊本むさしワイズメンズクラブ (株) グリーン設計 (有) クリーンメイト九州 (株) グリーンロジスティクス 光進建設 (株) (株) コスギ不動産 (有) 小園商店 (株) サブネット (株) さくら設計 (株) 佐藤電工 佐藤白蟻工業 (株) (株) サンオーシオ (株) 産総設計 (株) ジェイ・ディー ジェンズワイズメンズクラブ (株) 至誠設計コンサルタント (株) 志水工務店 (株) 松栄パナホーム熊本新規建設 (株) 水研化学工業 (株) 熊本営業所 住商産業 (株) セイブ管工土木 (株) (株) セイブクリン (医) 誠療会 成尾整形外科病院 (医) 大樹会えす総合診療所 (株) 太宏設計事務所 (医) 高野会 大腸肛門病センター 高野病院 (株) 竹内工務店 (株) 多田産業 (株) 建吉組 デイ・エス・大進工業 (株) 東光石油 (株) (有) 永田工務店 (医) 中村会 中村医院 なかむらファミリークリニック (株) 南栄開発 日本食研 (株) 日本ホーリス教団熊本植木キリスト教会 (株) ネオホーム (有) 風設計室 (有) 蜂楽饅頭 (株) まつぐ 松永石油・ガス (有) ママカムたくなん (株) 丸文青果 三池ガス (株) (株) 三津野建設 (有) 村田工務店 (有) メディックス (有) 森山石油店 (有) 柳屋本舗 (有) ヤヒロ広告社 山本中山法律事務所 (株) 豊工務店 (株) 吉永産業 (医) 令和会 熊本リハビリテーション病院 (医) 隆望会 ひがし成人循環器内科クリニック (株) 緑研 (医) 恰生会 慶徳内科医院 和久田建設 (株)

### その他

街頭募金(上通アーケード・下通アーケード・上熊本駅・ゆめタウン大牟田・ゆめタウンはません・シユロアモール長嶺・ゆめタウン光の森・スーパーみやはら内牧店・ホームワイド阿蘇店・道の駅阿蘇・えびすばー阿蘇店) カウントダウンキャンペーン大会 クリスマス礼拝(祝会) YMC A本館・YMC A学院・YMC A学院日本語科・みなみセンター・ながみねファミリーセンター・むさしセンター・職員クリスマス礼拝・常議員会クリスマス礼拝) 熊本教役者会 熊本五福幼稚園さと芋チャリティ 熊本五福幼稚園保護者会 おぎり会 市民クリスマス2022 ジャがいも販売 写真販売 チャリティプログラム(みなみセンター・ながみねファミリーセンター・むさしセンター) ながみねチャリティコーヒー ぶらっとほむ募金箱 (YMC A本館・みなみセンター・むさしセンター) ながみねファミリーセンター・熊本五福幼稚園・永草保育園・御船町スポーツセンター) みかん販売 みなみセンターワンポイント水泳教室 むさしクリスマスリース募金 YMC A学院(建築科1年A・こども保育科2年・こども保育科2年・社会福祉士受験対策講座・精神保健福祉士受験対策講座・パリスタ募金) YMC Aチャリティゴルフ会 YMC A・YWCA合同祈禱会 YMC A祭(前進祭・みなみセンターサザンフェスタ・ながみねチャリティウィーク)

◎その他(匿名にて139件)

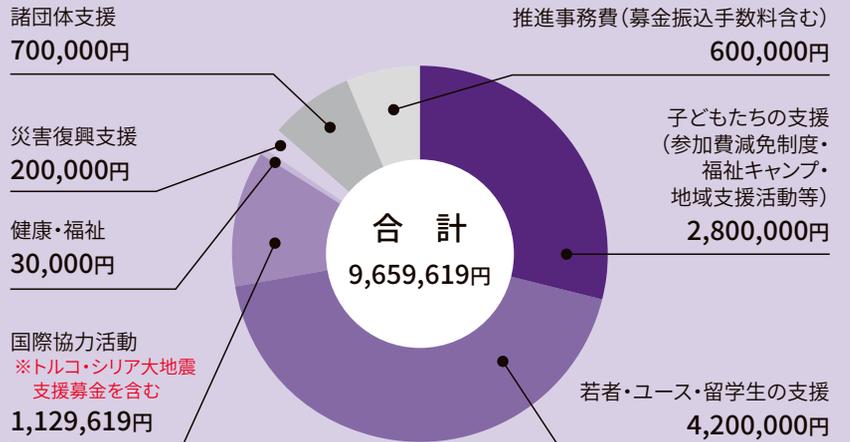
熊本YMCAではポジティブネットのある豊かな社会づくりを目指し、1,000万円の目標達成に向けて3月まで引き続き募金活動に取り組んでまいります。ご協力いただける方がいらっしやいましたらご紹介をお願いいたします。

# たくさんのご支援ありがとうございます



## 様々な活動に、皆様の募金が役立っています

### 募金の使途



(2023.2.11時点)



チャリティプログラムでスポーツ体験



たくさんのやささが集まりました

## トルコ・シリア大地震緊急支援募金

2月に発生しましたトルコ・シリア大地震を受け、年末募金の一部を被災者支援に用いさせていただきます。現在、各拠点で募金箱を設置し、協力を呼び掛けています。

皆様からの募金はトルコ・シリア国内に7カ所の拠点をもち、震災直後から支援物資の提供などを行う「ACT Alliance(アクト・アライアンス)」を通じて役立てられます。



現地調査の様子

### 募金使途

- ①食料、生活物資の支援
  - ②建物調査
  - ③政策提言
- 振り込みによる募金も受け付けています。詳細はWebで

## 寄付者御芳名

2023年2月11日現在 50音順 敬称略

### 個人

- 相嶋千尋 相藤絹代 赤星敦 赤星那奈 赤星文比古 秋月凛太郎 秋根年子 秋元文江 秋山真理子 秋吉美代子 秋吉睦 芥川和心 芥川和花 麻生清治 麻生尚哉 麻生由紀 安達太一 荒尾富代 荒木亜蘭 荒木紗奈 荒木博道 荒木風愛十 荒木愛音 荒木由起子 有山隆一 Anna Kulinaeva 家人乙 家人準平 家人鈴 家人莉音 生見栄治 池田静咲 池田光里 池田雄一 池田了晟 池邊京子 伊佐公也 井澤朱音 石内花歩 石坂茜海 石田丈夫 石橋綾 石橋由紀子 井島憲章 石屋むつ子 井芹稚菜 市原直子 市原直美 一原李勇功 レオン・安のり子 井手和也 井手宏美 出玲子 伊藤愛純 伊藤真太郎 伊藤颯真 伊藤環希 稲葉直広 稲葉結子 因幡亮治 井上梓 井上新 井上和美 井上佳奈 井上公志 井上壽子 井上朋美 井上信子 井上真理 井上由香 井上良子 今井政文 今東大也 今村空 今村太郎 今村尚子 今村秀夫 入佐孝三 岩切かおり 岩切和子 岩切聡汰 岩切智子 岩崎輝子 岩下聡子 岩下紗々 岩下大凜 岩下裕一 岩代康子 岩永明大 岩永イツ子 岩永研一 岩永福子 岩野小春 岩野由依 岩本悟 植木乃愛 上島蒼馬 上島大知 上島智博 上島美保子 上島由香 上島優菜 上島理央奈 上田愛紗 上田潤一 上田竣太郎 上田陽葵 上田昌美 上田みち子 上野修一 上野哲夫 上野陽子 上野るみ子 上村文美 上村珠李 上村昭一 上村省子 上村眞之介 上村智美 上村真央 上村眞智子 上村光代 上村陸奥 男牛嶋加佐喜 牛嶋優喜 歌野清三 内布光亮 内村圭太 内村忠生 内村祐稀 内山ゆきウナゴラハルヒ 畔林果暖 梅井颯太 梅井俊夫 梅井暹斗 浦谷音羽 浦谷美羽 浦喜登 江浦誠 江上緑 及川雅恵 及川理恵 大川原伸夫 大川莉央 大久保和生 大窪礼子 大崎隆義 大崎結貴 太田和志 太田晶 太田就仁 太田はな 太田真知子 大塚朝陽 大塚心美 大塚彩夏 大塚紫緒里 大塚永幸 大塚正子 大塚美結 大西晃弘 大原英子 大庭理恵子 大村浩士 大村豊 大宅善輔 大宅登貴子 岡崎安則 緒方みゆき 緒方雄大 緒方由美子 岡陸 岡村健二 岡本洋子 岡山富士男 小川祐一郎 沖真帆 尾崎範子 長船強 小田原颯
- 志 小野誉子 尾道一幸 小山昭征 甲斐國英 具原成郁 柏原芳則 春日伸仁 片山結月 勝田曉人 加藤香織 加藤久美子 加藤蒼大 加藤大樹 加藤大地 加藤豊子 加藤泰文 金澤治志 金澤凜佳 金子貴美子 兼瀬稔宜 過能杏菜 河上翔毅 河上すず 川上美佐子 川上安生 河上らん 川口瑠実 川越ゆかり 川添杏利 河西志英 川野真 川原江梨香 川満俊 北岡陽星 北岡佑星 北川真鈴 木下修 木下敬介 金聖孝 木村向成 木村成寿 木村華 木本原志 清野健 吉良山羽衣 桐原浩一郎 金倉虎珀 久家壽美子 終崎翔士 終崎晴美 終崎結翔 草野恵美子 草野輝美 草本昌子 楠本絢澄 楠本彩遥 工藤智也 工藤充泰 工藤由果 工藤隆太郎 窪田健一 久保田悠仁 久保田雄二 隈部文 熊本四季子 熊本哲朗 久山佳音 倉重哲兜 藏本章平 藏本奈央 藏本優衣 Kristina Mahnova 栗林煌太郎 林美緒 黒木裕二郎 桑原清継 桑原純一郎 上妻明美 上妻詩歩 古閑恵子 古閑健士 古閑健誠 古賀琥太郎 古閑智子 古賀結芽 小迫恵子 小島仁嘉 御所勇仁 兒玉多恵子 兒玉祐樹 後藤聖奈 後藤千尋 後藤まり子 嶋美穂 後藤優河 後藤理沙 小西裕子 小山泉 小山希史子 小山哲夫 西郷恵一郎 最相博子 齊藤信慶 齋藤良子 齊藤綾亮 左右田通 堺涉夢 酒井映実 堺幸代 坂井さゆり 堺七海 酒井利瑛 坂井隆将 境和歌子 坂口愛利 坂口智哉 坂口大翔 坂口優月 坂口陸斗 坂西リツ子 坂本湖春 坂本今 坂本さだ子 坂本理一 策俊郎 策知子 佐久間隆 佐久間護 笹島由美子 笹本美和子 佐竹麗央 佐藤旭 佐藤亜美 佐藤綾華 佐藤忍 佐藤拓海 佐藤紘翔 佐藤万由美 佐藤美佐子 佐藤通彦 佐藤有人 澤田七楓 椎葉朋子 椎屋陽仁 紫垣みどり 繁野壮伸 篠崎秋花 篠崎春真 篠崎眞理子 柴田葵 嶋田哲三 島田陽向 島村圭真 清水望美 清水美幸 下坂紀志子 下田知佐子 下田奈央子 下村光里 正泉寺秀人 白石菜々々 白井澄子 白橋蒼之介 陣内壮馬 末次和花 末松希一 末松史帆 末松大喜 菅原瑛斗 杉下昌子 杉野茂人 杉野浩杉原實 鈴木理 鈴木淳 須藤史朗 角本浩誠 諏訪京子 芹川芳子 園田進 園田由美子 高口喜美男 高戸咲季 高橋英汰 高橋煌 高橋樹里 高橋想生 高橋知紗 高橋侑幹 高橋梨衣奈 高橋深 高橋聖 高濱友直 高藤あかり 高村善夫 高本公加 田北康一郎 田口雄太 竹下明希 竹田津英里 武田十和 竹田利々花 武富航汰 竹原圭汰 竹屋智裕 田崎順子
- 田代智子 立石佳奈 田中俊夫 田中速雄 田中晴子 田中善一 谷本みゆき 田上恵美 田上かつみ 田上正 田上裕章 田上美幸 田畑可奈恵 田淵柁士郎 田淵陽花里 田淵勇治郎 玉野井祐人 伊哲 千草正子 Zurluh Beatrice 塚本彩心 塚本七楓 辻健太郎 辻千夏 辻眞利 津田菜侑花 津田悠里花 堤弘雄 堤雄一郎 堤雪乃 角田千恵子 坪根律子 丸元紀 寺床和雲 土井崇実 土井美佳 遠山明美 遠山賢次 時津朱里 時津茅禾 時任幸四郎 時本紀子 徳田穂 徳永修一 徳永怜咲 徳丸颯輝人 徳本一晟 戸田尚斗 利根真人 富田孝一 富田祐一郎 富田龍子 富永久美子 豊住光希 豊田楓 豊田フミ子 鳥井恵子 鳥井麻里菜 鳥瀬拓海 永家壮真 長尾多恵子 中尾陽子 中川杏音 中川梓 中川幸花 中川美奈子 中川美優 長崎あや子 長澤牧人 中島慧人 中島翠花 中嶋優菜 長瀬航平 永瀬美弥 永田瑛万 中田菜七 永田利徳 永田尚徳 永田悠馬 永田廉 中野翔翔 中野晴陽 中林好子 永原公子 中原恵子 中原シズヨ 中原温 中松栄見子 中村邦雄 中村賢次郎 中村晃士 中村壮一 中村空 中村辰生 中村夏実 中村仁美 中村恭浩 中村陽子 中村陽志 中村好美 中村稜子 中村凜果 中夕紀 成田淳子 成田康司 新納浩子 西岡憲一 西岡映希 西岡陽希 西川晶子 西田晶子 西田翔 西田理花子 西田梨乃 西野直美 西原稔 西村佳恵 西村公佑 西村斉恵 西本愛西本けい子 西本貴志 西森耀 西山幸雄 二ノ村信正 沼田茂美 野口琴愛 野田希羽 野中耕治 野中真知子 野原椋愛 野村圭 野村利恵子 埴雄二 計屋紘信 橋口久美子 橋本朋子 橋本ひとみ 橋本美和 橋本玲二 畑田理玖 馬場葵 馬場輝美 馬場美妃 馬場淑之 林香季 林田詩織 林田允良 林田ちとせ 林田博文 原田咲 原統麟 原本泰佑 楢垣芳杜 東輝一朗 東咲月 東咲良 東久文 東裕正 東留美子 東玲那 土方杏華 日田颯介 日野充裕 平岡志津子 平川瑛崇 平木雅美 平木元宏 平木悠太 平田美保 平野希実 平野俊晴 平原翔 平原結斗 廣石 妙子 拾雄正光 廣島久美子 廣瀬正道 廣野美奈子 福田真紀 深水陽結 深水暁晴 福島史実 福田邦子 福田孝太郎 福田祥太郎 福田伸二 福永和美 福原眞理子 福本佳護 福元湊太 福井あかり 福山裕敏 藤井千秋 藤井祥子 藤井資子 藤川右梅子 藤川登士郎 藤澤遼 藤田香織 藤元俊輔 藤本博人 藤本美穂 藤森慈吾 藤森直也 藤山みどり 藤原京 二子石真弓

# ウィンターキャンプ

今年もたくさんのお子どもたちがYMCAのウィンターキャンプに参加。寒い季節をいっぱい楽しみました。



かっこいいでしょ



しめなわできたよ



ソリは楽しいね



松ぼっくりでクリスマスツリー



大きい山をつくらう!



長野でスキー



落ち葉をポイ

受付中

## スプリングキャンプ&スポーツスクール



- キャンプ 科学実験キャンプ・アウトドアクッキングキャンプ・3日間えいごデイキャンプ
- スポーツ 水泳教室・体操教室

詳しくはWebで▶



## ピンクシャツデー 2023



2007年、カナダの男子学生がピンクのシャツを着ていじめに遭ったことを発端に世界各地に広まったいじめ反対運動「ピンクシャツデー」。YMCAも各拠点で取り組んでいます。

今年のピンクシャツデーは2月22日。熊本YMCAでは、その前後1週間をピンクシャツウィークとして取り組み、子どもたちや職員もピンクのものを身に付けていじめについて考える機会としました。

熊本YMCA 全体職員研修会



YMCA本館 フォトスポット



ピンクシャツデーの詳細はWebで



## わたしと聖句



創世記 50章 20節

あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、

神はそれを善に変え

自分の過去を振り返るとき、私はしばしば思います。

あのときは不幸だと思って悩み、苦しんだけれども、それらの多くが、実は、自分の人生に多大な益をもたらしていたのではなかったかと。

少年の頃、兄たちに憎まれ、エジプトに売られたヨセフは、不思議な神の御手によって、やがてエジプトの総理大臣となります。そして兄たちと再会したとき、こう言うのです。

「あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、…」

このヨセフの言葉は、私たちみな体験で

もあるのではないのでしょうか。

確かに人生には、よいこともあれば、悪いこともあります。それらをどう受け止めたらいのか。

スイスの思想家ヒルティの次の言葉が、私にはよい指針となってくれました。

「なにごとが起ころうと、すべては神のみ手から授けられるものと信じ、もはやいろいろと思わずらうことなく、ただ開いた門を通って行くならば、その人の人生はすでに幸福に始まりはじめてのである」

ヒルティはこう言っているのです。

一、自分に起こるすべては神のみ手から授けられるものと信ぜよ。

二、思いわずらわず、ただ自分の前に開かれた道を歩んでゆけ。

以上の二つを実行するだけでよいのだと思うと、私はとても楽な気持ちになります。幸福とは、何と身近なところにあるものでしょう。

大津キリスト教会  
米村英二

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)

発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウェルネス活動 平和な世界

### 2022年度基本聖句

イザヤ書 40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。走っても弱くはなく、歩いても疲れない。